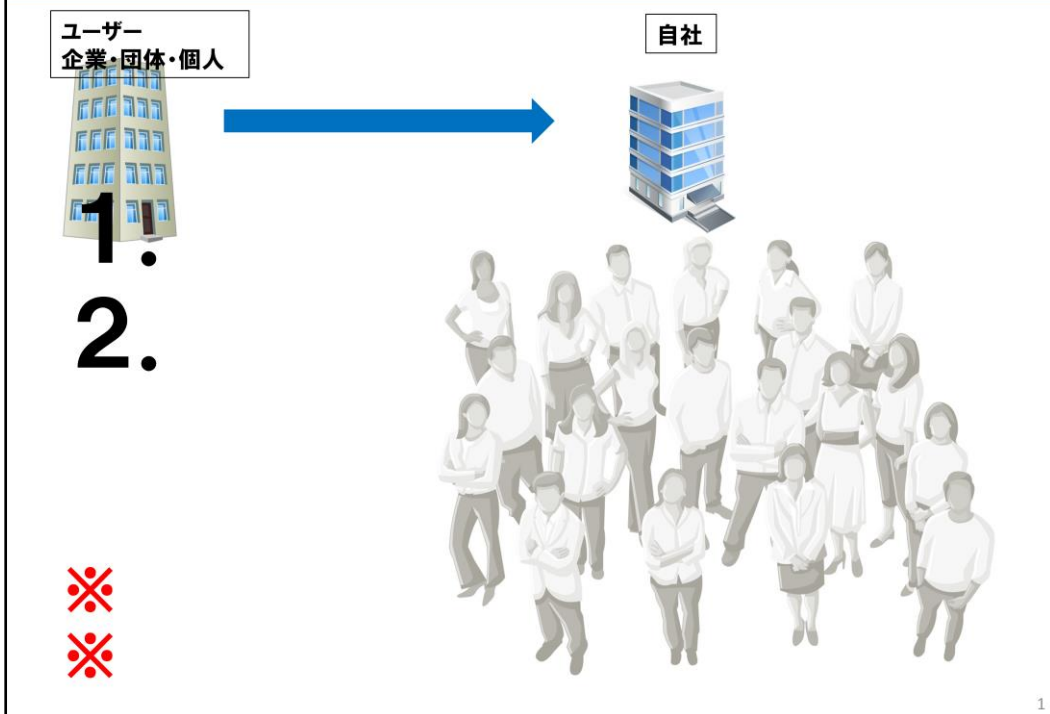


企業と個人が共に成長するためのキャリアデザイン研修:視点の転換



【アイスブレイク】

※

1. アイスブレイク案内

「

(記入時間3分)」

「(全員提出が終わったら)

」

「今から行って頂くことは、こちらになります」

次ページへ

■ ワーク1:客観的な視点で確認

1. 顧客から自社はどんな会社として映っている？  
(既存顧客) (未取引顧客)

2. (1) 理由 (2) 理由

3. 顧客は か(どんな か)

4. 自社が 理由

【客観的な視点で確認】

1. 個人ワーク、グループ共有、全体共有  
(時間によって全体共有は3, 4, のみでも可)

1. 「先程のアイスブレイクのPRと比べていかがでしょう。一致していますか？」

2. 「 」

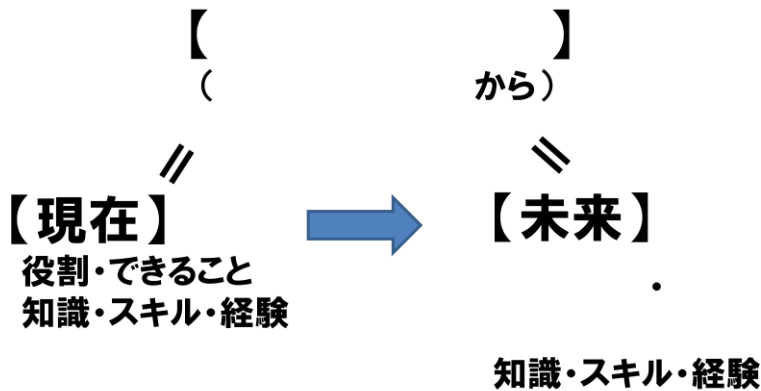
3. 「 」

4. 「 ? どこを目指していくか、大事ですね」

「普段、あまり意識することのない視点だと思いますが、

が価値をあげていく必要があります」

■ 忘れてはいけない視点



【棚卸と未来予測】

1. アニメーションにより「現在」と「未来」を提示して解説

2. 解説

「キャリアデザインというと、

、キャリアデザイン自体がムダになります」

「  
」提示

「

、ということは仕事にならない、存在意義がない、すなわち収入につながらないということです。

更に

、投資した時間や努力が無駄になります」

事例:

: ⇒

試作品づくり: ⇒

:

⇒

⇒

⇒

?

⇒

⇒

の仕事無くなる?

が不要になる?

を行っていた人は仕事が無くなる?

## 企業と個人が共に成長するためのキャリアデザイン研修：棚卸

### ■ ワーク2：棚卸

	経験( )	知識・スキル	
1			
2			
3			
4			
5			
その他			
	仕事/理由		
	仕事・テーマ/理由		
	強み・	・能力	

4

### 【棚卸】

#### 1. 棚卸の進め方紹介

「今後の自分を考えるにあたって現在の自分自身がどうなのかを明確にしておく必要があります。他の人との共有は行いません。あくまで適切なキャリアプランをつくるために、素直に書いて頂ければと思います」

※講師の事例紹介

■ ワーク3: 未来の世の中(できること、仕事で想定されること)、感想

5年後 ( 歳)

10年後 ( 歳)

いる?

必要になる?

未来を見据えて今自分ができること、やっておくべきこと

【未来の世の中】

「行うキャリアデザインがあまりに現実とずれたものにならないように、ここからは未来について考えてみます」

1. 5年、10年の書き方紹介

「

想像してみましょう」

～5、10分各自で考えて記入～

2. 未来年表の確認

「では、材料をお渡しします

を記載してください。

■

■

※プリントアウトして配布するか、個人スマホで確認してもらう。  
スマホ活用の場合は事前に担当人事に確認

3. 自社はどうなっている?どんな人材が必要になる?

「

」

4. 自分ができること、やっておくべきこと

「

」

5. グループ共有、全体共有

「では、どんな意見が出たのかグループで共有してください。その後、全体で共有します」

■ キャリアデザイン

キャリアデザインを行う意義

→先を見据える事で

- ・今の仕事で何が役に立つか、何が必要かを見据える事ができる
- ・ ( )
- ・ になる

【どんな事を考える?】

- ・職域をあげる(どこまで?)
- ・職種をかえる(何に?可能なのか?)
- ・ ( )
- ・部門を横断してつなぐ
- ・部下の育成
- ・ を開発する
- ・ワークライフバランス実行(モデルとなる)
- ・ ?
- ・ 等

【キャリアデザイン理解】

1. キャリアデザインを行う意義の解説

「キャリアの語源は、

この意義について、良く紹介されるのが  
す。この展望を見出す  
がありま

2. 「 の事例紹介」  
「

しまうことになる。

→

、ということ

3. キャリアデザインでどんなことを考えるか紹介